



令和5年2月1日

広島大学平和センター主催
広島平和記念資料館共催
(国立大学経営改革促進事業)

令和4年度(2022年度)市民公開講座
「混沌とする世界とヒロシマの今」を開催します

情報提供

ロシアによるウクライナ侵攻が続き、核兵器使用の懸念が高まる中、世界平和のあり方について、多様な議論が展開しています。

本市民公開講座では、混沌とする国際社会において、世界の核をめぐる情勢、地域紛争の背景、被爆の記憶追体験の影響について考察し、被爆の実相を世界に発信する資料館の活動を報告します。

日時：令和5年2月23日(木・祝) 13:00-15:40(開場 12:30)

会場：広島平和記念資料館メモリアルホール

言語：日本語・手話通訳(日本語)あり

講演者：川野徳幸(広島大学平和センター センター長・教授)

友次晋介(広島大学平和センター・准教授)

片柳真理(広島大学大学院人間社会科学研究科国際平和共生
プログラム副プログラム長・教授・平和センター
副センター長)

ファンデルドゥース瑠璃(広島大学平和センター・准教授)

細田益啓(広島平和記念資料館副館長(事)啓発課長)

滝川卓男(広島平和記念資料館館長)

参加費：無料

参加方法：会場にて、対面で開催いたします。



左記以下のQRコード、または以下のURLからお申込下さい。
URL <https://forms.office.com/r/qPPnySvG2c>

【お問い合わせ先】

平和センター

Tel : 082-542-6975 FAX : 082-245-0585

E-mail : heiwa@hiroshima-u.ac.jp

内容のお問い合わせ：ファンデルドゥース瑠璃

Email: lulidoes@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-542-6976

発信枚数：A4版 3枚(本票含む)



広島大学平和センター主催・広島平和記念資料館共催



国立大学経営改革促進事業

令和4年度（2022年度）市民公開講座

混沌とする世界とヒロシマの今

令和5年2月23日（木・祝）13:00-15:40（12:30開場）
広島平和記念資料館メモリアルホール

手話通訳あり

講演者（登壇順）

川野徳幸

友次晋介

片柳真理

ファンデル

ドゥース瑠璃

細田益啓

滝川卓男



参加無料・要予約 2月20日（月）締切 先着300名

お申し込みは 左記QRコード もしくは

URL <https://forms.office.com/r/qPPnySvG2c>（広島大学平和センター） または、

電話 082-242-7828 もしくは FAX 082-247-2464 で、資料館啓発課 まで。



コロナ対策のためマスク着用と手指消毒にご協力ください。
当日、発熱のある方、ご体調のすぐれない方はご遠慮ください。



広島大学平和センター主催・広島平和記念資料館共催
令和4年度(2022年度)市民公開講座



混沌とする世界とヒロシマの今

国立大学経営改革促進事業

令和5年2月23日(木・祝)13:00~15:40(12:30開場)
広島平和記念資料館 メモリアルホール 参加無料 要予約

13:00-13:25 開会の挨拶・講演「混沌とする社会でヒロシマの役割を改めて考える」



川野徳幸 Noriyuki Kawano 広島大学平和センター センター長・教授。博士(医学)。広島大学原爆放射線医学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授などを経て、2013年6月から同センター教授。2017年4月、センター長に就任。専門は、原爆・被ばく研究、平和学。

13:25-13:45 「地球規模課題としての核廃絶」



友次晋介 Shinsuke Tomotsugu 広島大学平和センター・大学院人間社会科学研究科准教授。同志社大学法学部政治学科、名古屋大学大学院環境学研究科修了、博士(法学)。ジョージワシントン大学シグナルアジア研究センター客員研究員、(独)科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)アソシエイトフェロー、名古屋短期大学英語コミュニケーション学科助教、広島大学大学院国際協力研究科准教授等を歴任。専門は、科学外交、科学技術を介した社会史、パブリックディプロマシー、国際関係史研究。

13:45-14:05 「危機対応と国際協力」



片柳真理 Mari Katayanagi 広島大学大学院人間社会科学研究科国際平和共生プログラム副プログラム長・平和センター副センター長・教授。博士(法学)。国連東スラボニア暫定統治機構人権担当官、民生担当官、在ボスニア・ヘルツェゴヴィナ上級代表事務所政治顧問、JICA研究所主任研究員等を経て2014年4月広島大学准教授就任、2015年4月同教授。2016年同副研究科長。2019年より現職。

14:05-14:15 (休憩)

14:15-14:35 「被爆の記憶の追体験と長期・派生的影響」



ファンデルドゥース瑠璃 Luli van der Does 広島大学平和センター・大学院人間社会科学研究科准教授。博士(社会科学)。英国立エディンバラ大学言語学部研究員、ケンブリッジ大学応用言語学研究センターChevenings研究員、シェフィールド大学東洋学研究所講師、ケンブリッジ大学アジア・中東学部客員研究員などを経て2019年より現職。専門は言説表象分析、社会心理言語学、実証記憶学。ICMEMO(公共に対する犯罪犠牲者追悼のための記念博物館国際委員会)委員。

14:35-14:55 「データでみる資料館啓発活動の近況」



細田益啓 Masuhiro Hosoda 広島平和記念資料館副館長(事)啓発課長。広島大学経済学部卒。1983年に広島市役所入庁。健康福祉局障害福祉課長、人事委員会事務局次長(事)任用課長などを歴任し、2021年4月より現職。

14:55-15:05 「資料館の今、そしてこれから」



滝川卓男 Takuo Takigawa 広島平和記念資料館長。広島大学経済学部卒。1983年に広島市役所入庁。市民局平和施策総合推進担当課長、企画総務局東京事務所長、こども未来局長などを歴任。担当課長時に被爆体験伝承者養成事業の準備に携わる。2019年4月より現職。

15:05-15:15 (休憩)

15:15-15:40 パネルディスカッションと質疑応答

15:40 閉会の挨拶



お申し込みは 左記QRコード もしくは

URL <https://forms.office.com/r/qPPnySvG2c> (広島大学平和センター) または、
電話 082-242-7828 もしくは FAX 082-247-2464 で、(資料館啓発課) まで。

コロナ対策のためマスク着用と手指消毒にご協力ください。
当日、発熱のある方、ご体調のすぐれない方はご遠慮ください。